

かすかべの新しい顔

幸松分署が開署

春日部消防署幸松分署が4月1日に開署し、消防車1台が配置されました。これで市内には本署1、分署4、消防分団8となり、日夜、消火、救急活動に当たっています。



古利根公園橋を憩いの場に

古利根公園橋が11月24日完成しました。春日部駅東口地区と幸松地区とを結ぶ、公園を備えた特徴ある橋は、市民の憩いの場となっています。



西口駅前通りをケヤキ並木に

緑化推進のシンボルとして西口駅前通りにケヤキが植えられました。フジ棚に続くケヤキ並木の背々と茂る若葉は、市民の目を休ませています。



藤塚橋上流に桜を植樹

古利根川に桜並木を復活させようと桜の木が緑町側に220本で36本、藤塚側に350本で54本が植えられています。水と緑に囲まれたのどかなこの古利根川沿いを、皆さんで新しい名所にしてください。



市営住宅の入居が始まる

緑小近くの古利根川沿いに緑町市営住宅2棟が完成し、昨年の12月から60世帯の人が生活しています。現在も2棟を建設していて、9月に入居募集の予定です。



東部浄水場に新しい滅菌設備

東部浄水場の滅菌設備が変わりました。これは塩素ガスの法令規制が強化されたことによるもので、これまで使用していた塩素から安全性の高い次亜鉛素酸ソーダに切り替えられたものです。



三枚橋地区長
小菅正造さん

古利根川の清掃を始めて十三年たちます。川はかまりきれいなになりました。子供のごよよく水遊びをして、きれいな水と藻がたくさん生えていたことを覚えていきます。そのころの姿に戻りたいですね。

古利根川をきれいに
古利根川の清掃が三月三十一日、小淵橋から粕壁ポンプ場までの兩岸で、およそ二千人が参加行われました。この日は、朝早くから、川の中まで入ってきれいにする人たちの姿が見られました。



ひこと
粕壁東六丁目
北出紀枝さん



ステンドアートがお目見え
四月二日、コミュニティセンターロビーに、フジの花や公園橋などをモチーフにしたステンドアートがはられ、訪れる人たちの目を楽しめています。これは、同センターで活動しているステンドアートクラブの会員が制作したものです。
着色されたガラスの鮮やかさに魅せられて、始めました。色の出し方が難しいと思います。家で作るときは、子どもも喜んで手伝ってくれます。部屋に飾るとすてきですね。



ひこと
交通安全母の会
会長
和田八重子さん

入会したきっかけは、家庭から交通事故の被害者も被害者も出していないと思っただけです。自乗車の乗り方は、母親のほうが知らないですね。子供の手本になる大人も身につけては。

岡崎友紀さん、一日署長
春の交通安全期間中の四月六日、タレントの岡崎友紀さんを一日警察署長に迎え、交通安全パレードが行われました。交通安全協会や交通安全母の会など七団体の約三百人が参加し、事故防止を呼びかけていました。



かすかべの自然
皆さんは、春日部に「桜道」という、なんともロマンチックな名の道があったことをご存知でしょうか。浜川戸一丁目にお住まいの斎藤若松さんによれば、現在の八幡様の参道付近が「桜道」と呼ばれ多くの人に親しまれていました。昭和五、六年のころ道路拡幅のためこの古木は移植も出来ず伐採されてしまい、今では、その名残もありません、とのこと。
今年も古利根川兩岸の桜の木は、見事な花をつけ、人々の目を惹きつけてくれました。これからの場所が伝説の桜道にならないよう、皆さんで大切に保護していきたいものです。